

保育目標

* 戸外で元気に遊ぼう!

寒くても一日一回は、外で遊びます。冬の自然を感じながら、山の中の探検散歩を楽しみます。

* 室内で手・指先を使って遊びます。

クリスマスのブーツ、モール、ツリーの飾りを作ります。折り紙、粘土、ハサミなど指先を使った遊びに取り組みます。

* 規則正しい生活を…。寝る子は育つ

6時起床、8時就寝(寝ている間に成長ホルモンがでて成長します。乳幼児の睡眠時間は10時間以上必要です。かしこく、元気な子どもに育てるために頑張ってください。窓を開けて自ら気持ちよく目覚めましょう。朝食(ご飯+お汁+タンパク質)をとることで体温があがります。

自然とのかかわりをたくさん持ちましょう
子どもの体そのものが自然の一部です。夜になると眠る、朝になると起きてからだを動かす、大地を踏みしめ、風に吹かれ、太陽の下で遊ぶことが、からだところの成長にとって不可欠の栄養素です。自然と人間のかかわりの苦労や、知恵を学び、自然に働きかけて作物を生産する努力も伝えたいですね。

感染症について

今年の冬はインフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が心配されています。

新型コロナウイルス感染症は正しく恐れて対応する必要があります。高齢者にとっては怖い病気です。若い人の死亡率は低いけれど侮れません。若い人の軽症者も含めて、感染者の1~2割くらいの人に後遺症が残ります。匂いや味が分からない、倦怠感、全身の筋力の低下、手足のしびれ、脱毛などの後遺症が報告されています。こうした後遺症は普通の風邪では起こりません。インフルエンザでもよほどのことがないと起きません。子どもたちにはきちんと教育を受けさせ、子どもらしい生活をさせてあげたい。おとなや社会を守るために彼らを犠牲にするようなことがあってはなりません。そのためには、個人任せではなく、社会的なとりくみが必要です。子どもたちが自由に、普通に生活できるようにする一方で、親や教職員を感染から守るための知恵と工夫が大事です。マスクの着用、手洗い、換気、フィジカルディスタンス(身体的・物理的距離)などを組み合わせた体系的なとりくみが不可欠です。

太陽と風と大地の中で大きくもっと大きく

たんぽぽだより

2020年12月

秋の日は釣瓶落としといいますが、日の暮れるのが早くなってきましたね。日中は過ごしやすく、めだか組は、外遊びをたっぷり楽しみました。どんぐり組は、下の小松池やさくらんぼ山に散歩に出かけました。とまと組は、どんぐり神社までの少し遠出の散歩に出かけました。たけのこ組は、裏山の中ふくの秘密基地で遊んだり、半田池に行きそり滑りも楽しみました。ペンギん組・らいおん組は、4・5歳合宿で蔵王山登山をして一泊しました。その後らいおん組は続けて2泊3日の合宿をし、もみの木保育園で交流保育そして次の日は仙酔島の散策もしました。たんぽぽっこは、秋の自然の中たっぷり遊びこみました。

今日本中で新型コロナウイルス感染者が急増し、「第3波」の感染拡大が起っています。病院・介護施設など集団感染が止まらず、北海道、大阪、愛知、神奈川、埼玉の5都道府県では感染者が、第2波を超えました。感染爆発を抑えるには、無症状者を把握・保護するためのPCR検査の抜本的な拡大が不可欠です。全国の医療機関と福祉施設内の感染は、750件(16日時点)。検査費用の半分を自治体持ちにしているため財源不足で、社会的検査が進まず感染拡大を止められません。どうすれば感染爆発を抑えられるのが問題です。

子ども時代に身につけたいこと

子ども時代は、友だちとの遊びの中でいろいろなことを体験し、そこから何かを感じ取ったり、考えたりする生活を大切にしなければならぬと考えます。その中から育つものが、ゆたかであればあるほど、理解力や想像力が育ちます。子どもたちの遊びをもっともっと大切にしなければならない理由はここにあります。今、学力低下が叫ばれています。その本当の原因は、勉強の時間が減ったためではなく、むしろ子どもの時代に自然の中で仲間とともに遊ばなくなったことに原因があるのではないかとされています。

12月の行事予定		1月の行事予定	
日	曜	日	曜
1	火	1	金
2	水	2	土
3	木	3	日
4	金	4	月
5	土	5	火
6	日	6	水
7	月	7	木
8	火	8	金
9	水	9	土
10	木	10	日
11	金	11	月
12	土	12	火
13	日	13	水
14	月	14	木
15	火	15	金
16	水	16	土
17	木	17	日
18	金	18	月
19	土	19	火
20	日	20	水
21	月	21	木
22	火	22	金
23	水	23	土
24	木	24	日
25	金	25	月
26	土	26	火
27	日	27	水
28	月	28	木
29	火	29	金
30	水	30	土
31	木	31	日



保育に関するご質問・ご相談がありましたら、お気軽に御連絡下さい。

連絡先 社会福祉法人小鳩会 たんぽぽ保育園
TEL (084) 943-1052 / Fax (084) 943-1053
HP <http://tanpopokids.jp>